

資料4の構成内容と見方

公共施設再編計画の対象となる施設について、提供するサービス・機能毎に分類しています。施設の概要について説明した後、4つの視点から実態・課題をまとめています。

〔構成及び記載内容〕

1. **事業目的**：対象施設で提供されているサービス・機能の事業目的。
2. **関係法令等**：対象施設で行われている事業が基づいている法律や条例、規則、市の計画等。
3. **施設一覧**：当該サービス・機能を提供している施設の一覧。

(例. 市民センター・コミュニティセンター)

① 地域	分類	名称	所在地	② 延床面積 (㎡)	③ 建築年度 (年度)	築年数	④ 耐用年度	⑤ 主構造	⑥ 運営形態	⑦ 複合・併設施設				備考
										庁舎 (連絡所)	図書館	高齢者福祉施設	保健センター	
忠生	市民センター	1 忠生市民センター	忠生3-14-2	4,810	2015	1	2075 +	RC	直営	●	●		●	
鶴川		2 鶴川市民センター	大蔵町1981-4	2,610	1985	31	2045 +	RC	直営	●			●	
南		3 南市民センター	金森4-5-6	2,117	1986	30	2046 +	RC	直営	●				
成瀬		4 なるせ駅前市民センター	南成瀬1-2-5	2,077	1995	21	2055	S	直営	●				
相原		5 堺市民センター	相原町795-1	2,863	1982	34	2042 +	RC	直営	●	●	●		
小山 小山ヶ丘		6 小山市民センター	小山町2507-1	2,705	1994	22	2054 +	RC	直営	●				
玉川学園 南大谷	コミュニティセンター	7 玉川学園コミュニティセンター	玉川学園2-19-12	595	1973	43	2033 +	RC	直営	●				建替え検討中
忠生		8 木曾森野コミュニティセンター	木曾東1-2	1,000	1988	28	2048 +	SRC	直営					都営住宅内
忠生		9 上小山田コミュニティセンター	上小山田町2616-2	258	1977	39	2037 +	RC	直営					
本町田 薬師池		10 木曾山崎コミュニティセンター	山崎町2160-4	2,105	1982	34	2042	RC	直営	●		●		
南		11 つくし野コミュニティセンター	つくし野2-26-5	1,003	1982	34	2042 +	RC	直営					
成瀬		12 成瀬コミュニティセンター	西成瀬2-49-1	802	2016	0	2076 +	RC	直営					
鶴川		13 三輪コミュニティセンター	三輪緑山4-14-1	1,503	2001	15	2061 +	RC	直営			●		
町田中心		14 町田市民フォーラム	原町田4-9-8	4,465	1999	17	2059 +	RC	直営	●				再開発ビル内
合計				28,914										

- ① **地域**：施設が配置されている地域（都市マスタープラン 10 地域に準ずる。ただし、一部を除く。）。
- ② **延床面積**：当該施設の延べ床面積。複数棟から構成されている施設はそれぞれの棟延べ床面積を合算した面積。
 ※延床面積が空欄の施設は複合施設内に設置されている施設である。複合施設については、全体の延床面積を施設の主たるサービス・機能に記載している。
 ※数値の端数処理は四捨五入しているため、合計が内訳と一致しない場合がある。
- ③ **建築年度**：当該施設の建築年度。複数棟から構成されている施設は主要な棟と設定した棟の建築年度。
- ④ **耐用年度**：構造躯体の目安となる耐用年度。主構造に基づき RC 造（鉄筋コンクリート造）・S 造（鉄骨造）の施設は建築年度の 60 年後、W 造（木造）の施設は建築年度の

40年後を記載。

※耐用年度は構造躯体の目安となる年度であるため、部位や設備機器等の耐用年度は考慮されていない（部位や設備機器等の耐用年度はこれよりも短い）。

※数字の後ろに (+) があるものは、長寿命化を行った場合、築 80 年まで躯体の安全性が見込めるもの（耐震化診断実施時データから算出）である。

- ⑤ **主構造**：建物の主構造。
- ⑥ **運営形態**：当該施設の運営形態。
- ⑦ **複合・併設施設**：当該施設と複合している、または、併設している施設機能の有無。

- 4. **配置の状況**：対象施設の配置状況について記載しています。どのように地域に分散しているのか、また、利用する際の交通事情などで特徴的な事項を記載しています。
- 5. **建物の状況**：対象施設の老朽化状況や施設保全のための主な施設改修状況を記載しています。
- 6. **機能の状況**：対象施設で提供する機能の確認をしています。複合化の状況もここで記載しています。
- 7. **利用の状況**：対象施設の利用状況について記載しています。主に施設再編を検討するうえで参考とすべきデータに限定しています。
- 8. **運営の状況**：対象施設の運営状況について記載しています。市の直営なのか、民間等への委託で運営されているのかなどを確認しています。
- 9. **コストの状況**：対象施設で行われている事業にかかる費用について記載しています。2015 年度行政コスト計算書を活用し、費用と収入の関係や原単位あたりのコストを示しています。

※行政コスト計算書の数値を元に作成している。一部のコストについては案分により算出を行っているため、実際にかかったコストと異なる場合がある。

実態・課題のまとめ⇒施設概要で確認した施設の実態や課題について次の4つの視点からまとめています。

- 1. **<行政関与の必要性>**：当該サービス・機能がどのような法令等に基づき提供されているのか、市が施設を設置する義務があるのか、サービス・機能の提供が義務づけられているものなのか、等について記載しています。
- 2. **<設置目的との整合性>**：施設を設置した目的と現在の施設の利用実態が整合しているか記載しています。
- 3. **<利用状況の妥当性>**：利用の状況について記載しています。課題となる（なりえる）利用実態がある場合は、その内容を記載しています。
- 4. **<施設の代替性>**：類似するサービス・機能が他の公共施設や民間施設で提供されていないか記載しています。